

降誕前第2主日礼拝 説教「私はメシアではない」三原牧師

ヨハネによる福音書 第1章19～28節

日本キリスト教団茅ヶ崎堤伝道所

2023年12月17日

① 「あなたは、どなたですか」(19節)

ヨルダン川で洗礼を受けていたヨハネのところに、大勢の人が来ていました。「もしかしたら、あの方が救い主かもしれない」。そこで、調べに来た人たちが、洗礼者ヨハネに聞きました。「あなたは、どなたですか」。普通、こう聞かれたら名前や、何歳とか、どこから来た、どんな仕事をしているとか答えます。ところがヨハネは「わたしは救い主ではない」と答えました。不思議な答えです。周りの人たちも「えっ、救い主ではないのですか」とびっくりしています。「私は救い主だ!」と偉そうに言う人が、これまで大勢、現れては消えていきましたからね。ヨハネが何か偉そうなことを言うのではないかと思って、色々聞いてみましたが、「違います」「そうではありません」の一点張りです。調べに来た人たちは困ってしまいました。「あなたが救い主でないことはわかりました。それでは、「あなたは何なのですか」。すると洗礼者ヨハネは、聖書の言葉で答えました。「わたしは『主の道をまっすぐにせよ』と荒れ野で神様の言葉を伝える『声』です」と。

② 「わたしは荒れ野で叫ぶ声である」(23節)

『声』は何かを告げたら消えていきます。それでいいのです。ヨハネの声を通して神様の言葉が届きます。皆が神様のおっしゃることに耳を傾けることができればそれでいいのです。証しする人自身が目立ったり、皆からほめられたりはしません。イエス様が本当に救い主であると指さすだけです。「主の道をまっすぐにせよ」「あなたのために主は来られる」「あなたは主に向かって歩き出さない」「ついていきなさい」「私じゃない、あの方が主だ」。イエス様が私たちの所までおいでになる道は、天の父である神様から私たちまでつながる道です。イエス様はその同じ道を通して、今度は天の父である神様のところまで私たちを導いていきます。新しい大きな旅が始まります。この道でイエス様と出会います。交わりが生まれます。道が右や左に曲がっていたら向こうが見えなくなりますが、まっすぐになれば、はるか彼方まで見えるようになります。まっすぐにするのが、ヨハネです。み言葉も洗礼も聖霊も、私たちのためにまっすぐにしてくれます。

③ 「わたしはメシアではない」(20節)

今までになかったような新しいものが現れると、それが正しいかどうかを取り調べるのが、エルサレムから来た祭司とレビ人たちの仕事です。彼らによるヨハネの取り調べが始まりました。「あなたがメシア(救い主)と呼ばれているといううわさがエルサレムまで届いていますが…」というような言葉が省略されているのでしょう。ヨハネは深い秘密を打ち明けるかのように、「わたしはメシアではない」と答えます。わたしはメシアではない、という人は、本当のメシアに道を開いて場所を空ける人です。自分が中心にはならない人です。「救い主はあなたがたの真ん中にいらっしゃいます。誰も見ようとしないし、信じようとしますが、救い主にお仕えるために、わたしはいるのです」。ヨハネはそう言っているのです。ヨハネは重ねて言いました。「あなたがたはわたしがしている水の洗礼だけを見ているからわからないのです。もっと素晴らしいことをしてくださるお方が、もうあなたがたの中に来ておられます。わたしがいなくなった後に、あなたがたはそのお方を見ることでしょう。わたしは、その方をみんなより先に見て、お知らせしているのです。イエス様のほかに救いはありません。うれしい気持ちでクリスマスを待ちましょう。